

柿 特報 No.1

2019. 3. 29
JA中野市営農センター
JA中野市柿研究会

定期散布を徹底し、高品質な柿を生産しましょう！

果樹類全般で、平年よりも5日程度早く生育しています。

病害虫の防除は予防を意識し、早め早めの散布を実施しましょう。

病害虫防除

◎4月上旬（4月10日頃まで）の薬剤散布

散 布 薬 剤	水	90 ℓ当り	散布日	月	日
	展着剤	10ml	散布量	ℓ	
	石灰硫黄合剤	10 ℓ（発芽前、-）			
対 象 病 害 虫	（黒星病）、カイガラムシ類				
散 布 量	10 a 当り 300ℓ				
	* 若木の場合、樹体に十分かかる量を散布する。				

（特別防除）昨年、カイガラムシ類の被害が発生した園地

防除方法	① 地面から第一主枝の間の幹を周囲30cm程度、粗皮を削る
	② 水：薬剤＝1：1（2倍）の割合で混合する
	③ 粗皮を削った箇所に調合した薬液をハケで塗り付ける （目安：若木は20ml程度、幹の太い木は40ml程度）
防除薬剤	アルバリン顆粒水溶剤（規格500ml）

《注意事項》

- 訪花昆虫保護のため、薬剤散布は早朝（午前6時頃まで）に実施する。
- 主幹害虫の発生が見られる場合は、ガットサイドSの1.5倍液（45日前、2回）を主幹部・主枝及び亜主枝の分岐部に塗布または散布する。

防除の際は必ず栽培日誌に記帳しましょう